

号外！次は4月！この4人です！

第22回「佐世保かっちえて落語会」10周年

扇遊・喬太郎・扇辰・三三

私たちの落語会は、次の公演（2020年）で10年目を迎えます。立ち上げた当初は、10年も続くとは思っていませんでした。佐世保は落語文化が不毛だった…とは言いませんが、育毛剤が必要なくらい微毛だったと思います。落語家の善し悪しは、テレビに出てるか出てないかが基準だったり、古典ながら小手先の笑いばかり取りにくい雑な落語を聴かされても、喜んだりする人が多かったようですから。私たちは、テレビ等で有名無名を問わず、ほんとに上手くて面白くて実力があって心根もいい、本格派の師匠方に来てもらおうと決めていましたが、果たして佐世保の人たちにわかってもらえるか、ご来場いただけるか、不安もありました。

しかもこの会は、思うところあって、入場料だけで運営していますので、経費的に続けていけるかどうか心配の連続であり、公演日が近くなると不安がつのり、夜も8時間しか眠れない毎日でした。にもかかわらず、こうして続けてこられたのは、ご来場いただいている皆さま…本格派の落語家とはどういう人たちか、落語が面白い、落語は深い、とはどういうことか“わかっている人たち”…のおかげでありますし、毎回無償で手伝ってくれている我が故郷の善き仲間たちのおかげであり、前座を務めている落語っ子たちとその家族、さらには、こんな西の端まで来てくれる師匠方のおかげである、と感謝いたしております。この落語会に関わり、応援してくれている人たちのおかげで、10年目を迎えることができます。その全ての人たちに、ありがとうございます！

次回も、私たちが自信をもってお勧めする師匠方が来てくれます、4人も。4人の師匠が一堂に会するのは、初めてです。

で、このなかの、おひとりの師匠からこういうメールをいただきました…「東京でも実現しない番組・顔付けですねえ！楽しみに伺います」。

“顔付け”とは出演者たちのことで、今回はこの4人。

入船亭扇遊：その粋で明るい芸風は、いつの間にか観客を江戸情緒の世界へ引き込む古典落語の名手。古典本来の楽しさを伝える技量と品格ある高座は非常に高く評価されていて、昨年は芸術選奨文部科学大臣賞、今年（2019年）は紫綬褒章を受章。

柳家喬太郎：現代的な新作落語と古典落語の両方で落語ファンを魅了し、その独創的な解釈と大胆な演出は“喬太郎ワールド”と称されていて熱狂的な人気がある。10年前の、記念すべき第1回目に出演してくれて、その時の面白さは今も語り草になっている。

入船亭扇辰：若い頃から正攻法の古典の演者として期待され、軽い滑稽噺から情感あふれる人情噺まで、持ちネタは幅広い。柔らかで落ち着いた雰囲気、端正な口調と繊細な表現力は、まさに現代を生きる古風な本格派であり、その高座はいつも清々しい。

柳家三三：人間国宝である小三治を“芸の親”にもち、正統派柳家の噺をしっかりと受け継ぎながら、古典落語の王道をまっすぐに進むその真摯な姿、その確かな表現力は非常に高く評価されていて“落語界の次代を担うひとり”である、と賞賛されている若き本格派である。

次回（に限りませんが）、佐世保かっちえて落語会にご来場いただければ…初心者の方には、古典的な話芸がなぜ現代人の共感を得るのかわかる記念すべき回になる…かもしれません。

通の方にとっては、こんな西の端にいながらも落語を堪能できる思い出深い回になる…かもしれません。

記念すべき回になるか、思い出深い回になるかは、それぞれでしょうが、いずれにしても師匠方と気持ちをひとつにして、お客様方の心に響くような落語会になるよう、努力も工夫もいたします。

前座の子どもたちとも、一生懸命に稽古をいたします。

こういう落語会に共感してもらえらば、これからも一緒に育てるような気持ちで、次回も、ご来場いただけると嬉しいですね。

次の20周年のためにー。

（文責・海老原靖芳）

2020年4月12日(日)
開演午後4時
佐世保コミュニティーセンター5F

大人指定席：2,500円 自由席：2,000円

小中高生：1,000円(指定席・自由席ともに同じ)

〈チケット販売は約2ヶ月前です〉

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちゃんて落語会・実行委員会 事務局

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時

-----切り取り線-----

〈指定席希望者のみご記入ください〉

◆ 指定席 大人()枚・子供()枚

〒

ご住所 _____

ご氏名 _____

電話・FAX 番号 _____